

「子どものために」との視点でチーム南小として組織力を高め、教育活動の充実に努めていきましょう！

組織的な教育活動の推進（教職員）

- ① 組織の活性化
 - ・経営方針に沿った教育活動の推進
 - ・足並みそろえた学年運営、共通理解・共通実践
 - ・起案の流れ、報告・連絡・相談の徹底
 - ・自らの職層に応じた力を発揮
 - ※学校経営支援組織の設置（教員と職員をつなぐ）
- ② 授業力の向上
 - ・日常的な授業公開、OJTの推進、校内研究の充実
 - ※主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善
 - ※問題解決の過程を大切に学習スタイルの実践
- ③ 校務分掌組織の活性化
 - ・PDCA→Pサイクルによる部会運営と校務改善
- ④ 教育公務員としての資質能力の向上
 - ・サービスの厳正に務める
 - ・教育公務員としての自覚をもち、法令に基づいた行動をする

【教育目標】 進んで学びくふうする子 思いやりのある子 健康でたくましい子

目指す学校

児童が「元気に登校、楽しく生活、満足して下校」できる学校
子供の安全・安心はすべてに優先する この前提のもと…

「できた！わかった!! 楽しい!!!」の音が 響く学校

児童の自己肯定感・他者肯定力・自己有用感の育成

- ・児童にとって、学ぶ喜びや楽しさを実感でき、安全・安心に過ごせる学校
- ・教職員にとって、使命感と熱意をもち、子供とともに成長できる学校
- ・保護者にとって、安心して子供を預け、子供の成長が期待できる学校
- ・地域にとって、学校と連携して教育活動を行い、ともに子供を育てる学校

「共育・協働・安心」の学校づくり（保護者・地域とともに）

- ① 保護者・地域への積極的な情報提供
 - ・学校だより、ホームページ、学校公開等
- ② 「学校応援団」、地域の教育資源を活用した教育活動の推進
 - ・おはなし届け隊、図書館ボランティア、学級文庫団体貸出ボランティア、南葛西町会の方々との連携、葛西さざなみ会、江戸川風の愛好会
- ③ 子ども、保護者、地域の安全を守る学校
 - ・テトルでの情報発信、警察との連携、防犯対策、避難所開設訓練
- ④ 外部アンケートや学校関係評価を活用した教育活動の改善
 - ・外部アンケート実施改善、各種保護者アンケートの活用
- ⑤ 地域行事への積極的な参加
- ⑥ 保護者への迅速、確実、丁寧な連絡、報告
 - 怪我、トラブル、事故発生時の「迅速かつ誠実な対応」
 - 「対話」を重視した連携

1 安全・安心（心理的・身体的）の確立

- ① いじめ・不登校への対応
 - ・「南葛西小学校いじめ防止基本方針」を基に組織的対応
 - ・年3回の児童アンケート、L-Gateの実施と活用
 - ・エンカレッジサポート教室の充実による「居場所づくり」
- ② けが・事故の防止と対応
 - ・安全指導の徹底（生活安全・交通安全）、安全点検
 - ・万が一起きてしまった時の、迅速な対応
- ③ 安全教育の充実
 - ・避難訓練、不審者対応訓練、自転車・薬物乱用防止・情報モラル教室
 - SOSの出し方教室（自殺防止教育）・生命の安全教育全学級公開
- ④ 安全・安心の居場所づくり
 - ・児童理解に基づいた、一人一人を大切にされた指導と言動
 - ・教師と子ども、子ども同士の温かな人間関係の構築
 - ・教室環境の美化、人権への配慮

2 「確かな学力」の向上

- ① 学習規律の徹底
 - 「南小スタンダード9つの約束」共通理解・共通実践
- ② 基礎・基本の確実な定着
 - ・「江戸川算数授業スタンダード」の徹底→他教科にも応用
 - ・ねらいの明確化、わかりやすい板書
 - ・学力調査等実態調査分析の活用
 - ・放課後補習（EDOスク）の充実
- ③ 主体的・対話的で深い学びの実感
 - ・問題解決の過程を重視した学習スタイル（問題解決学習）の徹底
 - ・子供の興味関心を高める課題設定
 - ・読書科や総合的な学習の時間を通じた探究的な学習（調べる学習）
- ④ 教育資源を生かした授業
 - ・一人一台端末の有効的な活用
 - ・地域における学びや交流…地域の教育資源を生かした学習計画
- ⑤ 全学年教科担任制の実施
 - ・深い教材研究により、質の高い授業を行う。
- ⑥ 教員の授業力向上
 - ・校内の「授業力向上委員会」を中心とし、全教科の授業改善を組織的に図る。全教員が問題解決学習の進め方を身につけ、実践する。

3 「豊かな心」の育成

- ① 3つの「あ」の共通実践
 - ◎「あいさつ」「あつまり」「あとしまつ」
- ② 「児童の作品でいっぱい」の学校
 - ・学習の成果を日常的に掲示し、互いに見合えるように整える。
- ③ 南小スタンダード生活編の共通実践により規範意識の育成
 - ・校内生活編、校外生活編
- ④ たて割り班活動による異学年交流
 - ・全校遠足、たて割り遊び
- ⑤ 道徳教育の充実
 - ・「特別の教科 道徳」の指導の充実（考え、議論する道徳へ）
 - ・道徳授業地区公開講座
- ⑥ 人権教育の充実
 - ・人権教育プログラムの活用
- ⑦ キャリアパスポートの有効活用
 - ・自己実現に向かって努力する態度の育成
- ⑧ NSB（金管バンド）の充実
 - ・南小の特色ある教育活動の一つとして、充実を図る。

4 「健やかな心身」の育成

- ① 体育授業の充実
 - ・体を動かすことが楽しいと思える授業
 - ・体力テストの実施と分析
- ② 休み時間の運動機会の確保・運動月間等の充実
 - ・外遊びの奨励（中休みは全員外遊びが基本）
 - ・なわとび週間、かけ足・持久走記録会
- ③ 生活リズムの向上
 - ・南小生活リズムウィークの実施・えどダブルールの推進
- ④ 食育の推進
 - ・食育に関する授業を、各学級年間3回以上実施。
- ⑤ 給食後の歯みがき・フッ化物洗口全学年実施（区の施策）

5 共生社会の実現に向けた教育の充実

- ① 特別支援教室巡回指導の充実
 - ・「個別指導計画」「学校生活支援シート」を基にした指導
 - ・巡回指導教員、SC、巡回心理士との連携
- ② エンカレッジルームの活用
 - ・全教職員で見守る
- ③ ユニバーサルデザインの視点での授業改善、環境整備
 - ・教室環境の美化、人権への配慮

全ては、子供たち一人一人のために…